

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

### 事業名【新】スタートアップ支援調査事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部産業イノベーション推進課  
スタートアップ推進室

電話番号：058-272-1111(内3750)

E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 629 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	629	0	0	0	0	0	0	0	629
決定額	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

令和5年度にスタートアップ推進室が設置されるとともに、同年6月に産学金官によるぎふスタートアップ支援コンソーシアムが設立された。

コンソーシアムの一員として参画するなか県に対して、先進的なスタートアップ支援の取組みを進めている他都道府県や県外スタートアップの情報収集及び県内企業との連携等が求められている。

### (2) 事業内容

ぎふスタートアップ支援コンソーシアム会員をはじめスタートアップ関係者及び既存企業との情報交換やスタートアップイベントに参加することで情報収集を行う。

また、先進的なスタートアップ支援に関する取組みを進めている他都道府県と情報交換を行うほか、近隣県や中部経済産業局とも連携を深め、情報を県内に展開することでスタートアップ支援の一層の充実を図る。

- 県内で開催されるスタートアップイベントへの参加
- 国等が開催する全国的なスタートアップイベントへの参加
- 他都道府県との情報交換

### (3) 県負担・補助率の考え方

県内の起業・スタートアップを支援し、新産業・新サービスの創出、新たな地域経済の担い手を創出することは県経済の振興につながるものであり、県負担は妥当。

### (4) 類似事業の有無

なし

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
人件費		
旅費	413	職員旅費
需用費	84	消耗品
役務費	132	スタートアップイベント参加費、通信費
委託料		
工事請負費		
補助金		
その他		
合計	629	

### 決定額の考え方

既存の事務費の範囲内で対応すべき内容であることから、計上を見送ります。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

＜岐阜県経済・雇用再生戦略＞

「産学金官、協創・協業企業と「(仮称)ぎふスタートアップ支援コンソーシアム」を設置し、スタートアップ支援のネットワークを強化する。」と明記

### (2) 国・他県の状況

国は令和4年11月に「スタートアップ育成5か年計画」を決定し、人材・ネットワークの構築、資金供給の強化と出口戦略の多様化、オープンイノベーションの推進の3本柱を推進している。

### (3) 後年度の財政負担

引き続き県負担で実施

### (4) 事業主体及びその妥当性

スタートアップ支援は、産業の活性化、雇用の創出など地域の活性化を促進するものであり、これらを効果的に行うため県として実施するものであり、当該経費を支出することは妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

ぎふスタートアップ支援コンソーシアムの関係者との交流を深めるとともに、先進都道府県等の取り組みを調査し、コンソーシアムの活性化と、スタートアップ支援に係る知見・ノウハウの深化を図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  
3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  
3：期待以上の成果あり  
2：期待どおりの成果あり  
1：期待どおりの成果が得られていない  
0：ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)  
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)

### (今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

### (次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

R5年度にコンソーシアムが設立され、事務局が県産業経済振興センターに設置された。引き続き円滑に事務が行われるよう支援していく。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント  
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由  
や期待する効果 など